

七転一起

Life is a series of choices～人生は選択の連続だ～



沖縄市立美里中学校
進路だより 第24号
2022年9月29日
進路指導部

球陽高校の学校説明会に参加してきました

平成元年に中部地区の進学校として開校した球陽高校には理数科5クラス(200名)、国際英語科2クラス(80名)が設置されています。理数科5クラスのうち2クラス(80名)は球陽中学校からの内進生のため、高校入試での募集は理数科3クラス程度、国際英語科2クラスとなっています。1年生の時の時間割はどちらの学科もほとんど変わりありませんが、2年になると理数科は理科と数学が、国際英語科は英語と社会が増える時間割になっていきます。

球陽高校といえば、昔は0校時といって7:30からスタートする早朝授業が有名でしたが、現在は新学習指導要領の施行に合わせ、全国的に早朝授業がなくなり、球陽高校でも現在は行われていません。8:30から学習の記録という一日の生活を記録する活動からスタートし、1コマ60分の授業が行われています。午前中に3校時まで授業を行い、昼食・清掃、午後6校時まで授業という流れで進んでいきます。お昼になると弁当業者3社、パン業者が1社校内に販売に来てくれるそうです。校内には自動販売機も設置されており、球陽中学校のきれいな校舎が設置されていたりと、私が通っていたころの球陽高校とはいろんなところが変わっていました。

制服はブレザーで、スラックスタイプとスカートタイプの2つから選択することができます。0校時と同様に昔は実施されていた土曜講座も現在はなくなり、年に2回の土曜授業参観が行われたり、1年生は3回、2年生は4回、3年生は6回必修の模試が実施されることになっています。必修模試以外にも希望者模試が1年生3回、2年生3回、3年生10回実施されており、補習のような授業を行ってくれる放課後講座やスタ場という(スタディする場という意味)放課後学習会によって大学進学に向けた環境が整っているところが魅力的だと感じました。

学校行事としては2年生の時に理数科はつくば研修、国際英語科は台湾研修に行くそうです。球炎祭と呼ばれる体育祭や球陽祭と呼ばれる学園祭、校内陸上大会もあります。また部活動は全部で35種類あり、体育系は18、文科系・同好会が17あります。陸上部では九州派遣となった実績もありました。

進路として高校卒業後に大学に進学したい気持ちがある人におすすめの高校です。一人ではなかなか頑張れない勉強も周りの仲間と切磋琢磨しながら共に頑張ることができる環境に身を置きたい人は球陽高校を進路希望先に考えてみてくださいね。



高校制服